

## 臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

### 【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3550-5151

担当者の所属・氏名 血液内科 伊藤礼子

### 【研究責任者】

聖路加国際病院 血液内科 伊藤礼子

### 【研究代表者】

聖路加国際病院 血液内科 伊藤礼子

# 造血幹細胞移植を受けた方を対象とした末梢挿入型中心静脈 カテーテル（PICC）に関する研究

## 1.研究の対象

2011年12月から2017年3月までの期間に当院血液腫瘍科（血液内科）で同種造血幹細胞移植を受けられた方

## 2.研究の目的・方法

造血幹細胞移植を行うには中心静脈へのカテーテルの留置が、移植の前処置の抗がん剤や免疫抑制剤の確保、食事がとれないときの栄養の点滴の投与、血液検査などのため必ず必要になってきます。

そのため移植時には中心静脈カテーテルを安全に挿入すること、安全に管理することが重要です。

日本の造血幹細胞移植を行っている病院ではこのカテーテル挿入を中心静脈とって首や鎖骨の下からアプローチすることが多いのですが、感染症や挿入時の合併症などが問題になることがあります。当院ではカテーテル挿入は一般的に腕から挿入する方法(PICC)を用いております。この研究は移植を受けた患者さんのPICCの有効性や安全性について調べる研究です。

## 3.研究に用いる試料・情報の種類

《情報》 病歴、既往歴、抗がん剤治療の治療歴、移植に関する情報、挿入したカテーテルに関する情報、合併症等の発生状況、カルテ番号 等

## 4.外部への試料・情報の提供

特にありません

## 5.研究組織

聖路加国際病院 血液内科

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町9-1

電話：03-3550-5151

伊藤礼子